

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「ローソンとパナソニックが次世代型コンビニの実験店舗オープン」
- 2) 「共栄火災海上保険 “義理チョコ” 募金、総額3136万円集める」
- 3) 「広島県・尾道に、全国初のサイクリスト向け複合施設が登場」

1) 「ローソン&パナソニックが“次世代コンビニ” 実験店舗を公開」

ローソンとパナソニックは2月6日、次世代型コンビニエンスストアの実験店舗「ローソンパナソニック前店」を、同日、大阪府守口市にオープンした。

この実験店舗では、「環境配慮」、「ICTを活用した利便性の提供」、「健康の提案」の3つのテーマに基づき、電力使用量を2010年比で50%削減に向けた省エネメニューの採用、季節にあったお得な情報やおすすめ商品を表示するデジタルサイネージの導入や、マッサージチェアや美容家電を利用できるリラクゼーションコーナーの設置などを行う。

省エネでは、オールLEDの採用や人感センサーでの風力制御など、エネルギーマネージメントを実施。デジタルサイネージには、上部に超指向性スピーカーを搭載し、周辺の顧客に音声情報を提供する。

そのほか、顧客のプライバシーに配慮し店内のカメラ映像から人物の映像だけを消去する新技術の画像処理を導入し、その映像を活用した効率的な店舗運営を検証する。

この実験店舗では、パナソニックの持つ技術を最大限に活用し、高齢化や健康志向にも対応した次世代型コンビニエンスストアの店舗モデル構築を目指し、検証・改良を重ね、蓄積した知見やノウハウを全国のローソン店舗に活用していくという。

次世代という省エネに取り組んだ店舗が主だったが、カメラを使ったマーケティングというのはまた新たな試みであるし、いかにも日本らしいのではないか。商品を見た・手にとったけど買わなかった、というのにはカメラで読み取ることのできない様々な理由が存在すると思うが、購入に至らなかったという事実はわかるのでヒントにはなるだろう。今後実験店で終わるのか実用化されるのか気になるところだ。

2) 「共栄火災海上保険 “義理チョコ” 募金、総額3136万円集める」

共栄火災海上保険がバレンタインデーの時期に行っている「“義理チョコ、あげたつもり・もらったつもり” バレンタイン・チャリティ募金」が今年、155万円集まった。この結果、1993年の開始以来、総額で3136万円に達した。集まった募金は、NGO「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」を通じて、西アフリカ・マリイの難民キャンプに寄付。水田づくりの活動資金として使われる。

募金活動に主体的に取り組むのは、女性社員を中心に結成された34人の「ボランティア推進チーム」。義理チョコの配布やホワイトデーのお返し代わりに1口500円をチャリティーとして募金しようと、社員に呼び掛けてきた。

推進チームのメンバー、営業統括本部の森田真央さんは「先輩から『チャリティーがあるから参加して』と言われたのがきっかけ。交流の場になるし、アフリカの子供たちに役立つのであればと、喜んでお手伝いしています」と話した。

社員数が多い企業など、義理チョコだけでも結構な出費になり、かと言って安物で済ませるのも…と、悩みが多そう。この取り組みはそういった悩みを解消するだけではなく、社会に貢献できるということもあり画期的だ。色々応用がききそうなので、どんどん広めてもらいたいと思った。

3) 「尾道に全国初のサイクリスト向け複合施設」

瀬戸内でレジャー事業を展開するツネイシヒューマンサービスと、ディスカバーリンクせとうちが運営企画する「ONOMICHI U2 (オノミチ ユーツー)」が3月22日、瀬戸内しまなみ海道の本州側の起点である尾道にグランドオープンする。

同施設は、尾道の新たな魅力の発信基地として各方面から注目を集めている、全国初のサイクリスト向け複合施設。自転車に乗ったままチェックイン可能で、自転車を客室に持ち込むこともできるサイクリスト専用ホテル「HOTEL CYCLE (ホテル サイクル)」を中心に、世界有数の自転車ブランド「GIANT STORE (ジャイアントストア)」が出店する。

そのほか、瀬戸内の魚介類や柑橘類を生かしたレストラン「The RESTAURANT (ザ レストラン)」や自転車に乗ったまま購入できるカフェ「Yard Café (ヤード カフェ)」、焼き立てパンなど提供する「Butti BAKERY (ブッチ ベーカーリー)」、ライフスタイルショップ「U2 shima SHOP (ユーツーシマショップ)」なども併設し、サイクリストのみならず地元の人々も気軽に楽しめる空間を提供するという。

また、施設内には、イベントスペースを併設。「食」や「文化」、「学び」などをテーマにしたシーズンごとのイベントも随時開催予定となる。所在地は、広島県尾道市西御所町5-11。その他、詳細は同施設Webページで確認できる。

「自転車に乗ったままチェックイン」というのが一体どのようなものなのかとても興味がある。街なかでは高級自転車に乗る人が増え、サイクリングを趣味にしている人も多くなっている。道路の交通ルールの改正も自転車人口の増加を物語っているだろう。そのような中でこうした施設は話題性も高く、実際利用する人には重宝されるのではないか。自転車にスポットをあてたサービスはこれからどんどん増えそうだ。